

科目名	商法入門	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学部	□ 必修	■ 選択
			学部	□ 必修	□ 選択
英文表記	An Introduction to Commercial Law	開講年次	□ 1 年 ■ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	くにい のりお	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	國 井 法 夫	実施方法	☐ 対面のみ ☐ 遠隔のみ ☐ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	個人事業主が商売(営利行為)をする際のルールを学ぶ。				
到達目標	個人事業主として起業する際に必要最低限の知識を学ぶ。				
授業概要	まず、改正民法と商法との関係を学び、その後、商法の内容を学び、資格試験の過去問を解いていく。				
授業計画					
第 1 回	商法の概念と法源について				
第 2 回	商人－企業の主体について				
第 3 回	営業－商人の活動と財産について				
第 4 回	商号と商業帳簿について				
第 5 回	商業使用人について				
第 6 回	代理商・商業登記について				
第 7 回	商行為の意義と種類について				
第 8 回	商行為の通則について — 民法と商法の違い				
第 9 回	商行為の通則について				
第 10 回	商事売買 商事売買と民事売買の違い				
第 11 回	商事売買				
第 12 回	交互計算・匿名組合				
第 13 回	仲立営業・問屋営業				
第 14 回	運送営業・運送取扱営業				
第 15 回	場屋営業・倉庫営業				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	授業の進路に合わせて関心のある内容について、各自下調べをしておくこと。				
履修条件 受講のルール	真面目に出席できる人を望みます。また、頭髮並びにスマートフォン等違反者は注意・指導します。				
テキスト	ポータルサイトに掲載するプリントにより授業を実施します。				
参考文献・資料	関俊彦著『商法総論総則』有斐閣				
成績評価の方法	テストの点数(80%)・授業態度(20%)等で総合評価します。				
オフィスアワー	授業日の午後				
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)				
実務経験及び実務を活かした授業内容					

学生への メッセージ	真面目に授業を受け、欠席しない学生を希望します。なお、頭髪等については注意をします。
---------------	--